**アンケート・ピックアップ**

**4月21日　ピクスタ株式会社 代表取締役　古俣　大介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

成功しても満足が得られなかったというのは私には衝撃的でした。私ならそこで十分満足してしまうだろうと思ったからです。

ただ、売り上げが伸びてもあせりを感じていた理由が、自らの原点である「なぜ起業したいのか？」→「新たな価値を生みだし、評価されたい」という思いが強かったからだと分かり，意志を堅くもつことは大切だなと感じました。

PIXTAのフォトシステムは自分の原体験から生まれたと分かり、企業のインスピレーションはいつどこでの出来事から生まれるのか分からないものであるのだなと思い、日々のちょっとしたことを大切にしようと思いました。

行動：知識が７：３という話でもあったように頭の中で考えるだけで終わって後悔しない生き方をしたいです。またベンチャー企業ならではの話もあり、興味深かったです。（経営・経営システム科・一年）

　最初の方のお話で、「行動：知識＝7：3」が大切だというのを聞いて、行動に移さないと何も始まらないのだなと思いました。ですが、ガイアックスの社長と知り合ったということについて、親の伝手があったということだったので、それは良い言い方をすれば「運」ですが悪い言い方をすれば「コネ」なので、もっと私たち普通の一般家庭の学生向けの話を聞きたかったです。また、スライドに書いてあること以外のことをあまり話していなくて、時間がたつにつれて引き込まれる感じがありませんでした。もう少し、古俣さんの考える自分のリーダーシップについて聞きたかったです。古俣さんの本当にやりたかったこと、「新たな価値を生み出して大きくしたい」という思いはとても素晴らしく、そこで写真掲示板に注目してピクスタを立ち上げた事はすごいなと感動しました。最後に古俣さんの今後のゴールのことを聞けて良かったです。特に、個人的な方のゴールで熱意を感じとる事が出来ました。(経営・会計情報・1年)

私は古俣氏の「起業家としてエキサイティングな人生を送りたい」という志がとても印象に残っています。レベルは低いですが、私も起業してみたいという気持ちが中高生の頃からありました。しかし、そんな話を周りにすると、「何をしたいから起業する じゃなくて、起業したいから何かを探すってどうなの？」と言われてきました。もちろんやりたい分野はあるのですが、具体的な案がまだないため、そう言われるたびに、自分の目標に不安を持っていました。今回、古俣氏の「新しい価値を生み出して大きくしたい。そして評価を受けたい。」というロマンにとても共感させて頂くと同時に、勇気をいただきました。講演本当にありがとうございました。（経営学部・経営学科１年）

健康用品で月商1000万円も上げたのに「本当にやりたいことではない」として別の事業へと移ったというのは、自分の人生に妥協せずに挑戦し続ける姿勢をはっきりと示していて印象的だった。日本人は、安定を得たらそこに固執してリスクのある挑戦を避けがちだが、一度きりの人生を納得できるよう、今本当に自分がやりたいことができるよう、行動し続けることは忘れてはならないと思い刺激を受けました。（経済学部経済学科1年）

一度事業が危うい状態になってから軌道にのせていくまでどのようにしてきたのかもう少し聞いてみたかった。企業する際にインターンとして準社員の扱いで企業内での経験をすることは非常に大切なプロセスであり、起業してからの安心材料となってくれるだけでなく、その先の自分の進む道をおしえてくれるとても貴重なものであると感じた。（経営・経営システム・１年）

今日おっしゃった中で、「自分がやるべき仕事が見つかれば、簡単にはあきらめられない。」という言葉に最も感銘を受けました。もうこれ以上先延ばしにせず、日々の勉強の中に自分のやりたいことの糸口を見つけていきたいです。今日はありがとうございました。

（経済・経済システム・一年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　私は語学留学に憧れているのですが、高校の頃から資料を見たりするだけで、行動に移していませんでした。でも、今の人生観を広げたいのなら、本気で行動に移すべきだと思いました。「本物の実力をつけるためには本物のやる気が必要」だと感じました。そして、インターンには是非参加したいと思いました。社会で役に立つ人になるには、この１０代の時期から、ものすごい努力が必要だと感じるので、将来のために、今自分にできることをやりたいです。机の上の勉強だけでなく、自分の頭で考えて行動するアルバイトやインターンなどに挑戦していきたいと思います。（経営学部・経営学科・１年）

　私はインターンを大学３年生くらいになったら始めようと思っていたが本日の講義を受けて、なるべく早く、今すぐにでも始めたいと思うようになった。インターン制の唯一にして最大のミッションである最速で成長すること、会社に貢献できる人材になり、そして自身の選択肢を増やすというのは社会に出てからの自分の人生におけるミッションでもあると思った。まず、自分がやるべきこと、やりたいことと一つ一つこなして、一人の人間として成長していきたいと思う。　（経営学部・経営システム学科・２年）

・何にでも興味を持つ→今まで読んだことのない本を読む。

・大学に慣れてきたら「なぜ自分は横国に来たのか」を考える時間をつくり、今、自分がやっていることが将来の夢へつながっていることなのかを確かめる。

・インターンで学べることの多さを知った。→インターンで思い切り自分の力を発揮できるように、ワード・エクセルや大人としてあるべきマナーを身につける。（経営学部・国際経営学科・1年）

**授業スタッフの感想１**

今回初めて授業スタッフとして集計をして感じたことがいくつかありました。まず一つは、最初先生に、私たちに負担してもらうこととしての集計と位置づけなさっていましたが、他者のアンケートからもいろいろ学ぶことができるということです。今まで他者の意見をたくさんいる機会はあまりなかったので、これからこのアンケートからたくさんの刺激を吸収していきたいと思います。二つ目はアンケート内容です。特に多かったのが、起業家の方のように、chanceをこれからの人生で掴めるのかという不安です。その解決策として、孫正義さんの話のように本を通じて見聞を広めていくという方法や、日頃から意識をして社会を見つめる、または企業インターンを活用するなどを挙げていました。よって自分も大学生活の期間で未来の自分につながるような機会に巡り合うため、主体的に行動していこうと思いました。

**授業スタッフの感想2**

多くの生徒が、紙に「失敗を繰り返してもそれを乗り越えられたのはすごい」とか「何度失敗しても夢を追っていくのが大切だと思った」など書いているが、根本的に古俣さんがそんなに失敗しているだろうか。講演を聞いていて、少なくとも自分は「この人は成功しまくってるなあ」と感じた。自分の両親は飲食店を経営していて、計り知れないほどの失敗を繰り返してきた。自分はそれを見てきた。一家が大ピンチにおいやられたこともあった。古俣さんの話から、皆は、何をそんなに失敗していると感じたのだろうか。

　純粋に、古俣さんの始めた事業が、何度か成功した道をたどること自体素晴らしいことだと思う。というか、アイディアの発想が本当にすごい。コーヒー豆、写真のやつといい、新事業を始めるにあたっての目の付け所が他になく、すごいと感じた。さすが成功した経営者である。

**授業スタッフの感想3**

　今回多かった意見は大きく分けて3つに絞れました。一つ目は行動7対知識3ぐらいが良いという言葉が印象的であったこと、二つ目はインターンの重要性、三つ目は何事も行動することが大切であるということです。今回の講演を聞いて私が思ったことは起業家の方々は口をそろえて「何事も行動してみることが大事だ」とおっしゃっているということでした。私の率直な意見としては行動しなければならないことはわかったので、起業家としてリーダーシップを発揮するのに気を付けていることなどもっとリーダーシップのとり方について様々な起業家の方々の意見を聞きたいと感じました。